

医



からだにいいはなし

オートプシーイメージング (Ai)のおはなし2

“オートプシー”は、剖検（解剖）“イメージング”は画像診断、で、CTやMRIを使った画像診断によって死因を検証するというおはなしをしました。

以前は病院内での死亡の場合、それまでの診察や検査や死亡状況によって、ある程度の死因は推定されるものの、病理解剖でも行わない限りは、死亡時の真の病態や真の死因が特定されることは極めて稀でした。

病理解剖については、解剖の資格をもつ医師の不足と死亡時に家族の同意を得ることの困難さなどから、年々、実施数が減少してきています。

近年、世界でも一番CT・MRIの保有率を誇る日本で、撮影された画像により、死亡時の病態把握、死因の究明などが行われるようになってきています。

また、病院内の死亡だけではなく、突然死・異常死・事故死にも活用され、都市部ではAiセンターの設立も行われています。

医療機関でのAi実施が標準化してくると医師から遺族への死因に対する説明がしやすくなります。

すでに全国の4割以上の医療機関はAiを実施しており、現在の裁判員制度により司法の「見える化」が進んでおり、裁判においてもAiの利用が広がってきています。

四万十町国保大正診療所

山本洋・高芝俊二・大川剛史

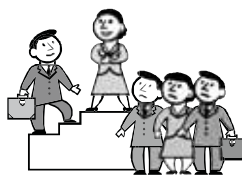


その症状、もしかして うつ病かも...!?



3月は職場の異動や住所の変更、卒入学シーズンを迎え、生活に大きな変化が伴う季節です。生活変化に伴ったストレスや緊張、不安が重なりいつもと違う心境に陥る事もあります。ほとんどの人は、時間の経過と共に新しい生活に慣れていくのですが、中には生活の変化に順応しきれず、不眠や食欲低下、イライラや落ち込みが続いてしまう人もいます。

以下には、人生で大きな変化を迎える幾つかの場面と、それに伴った代表的なうつ病をあげてみました。

マリッジブルー
結婚を機に...)

昇進うつ（昇進が大きなストレスに...）



退行期うつ（更年期や閉経期・初老期をきっかけに...）



空の巣症候群（子育て後の役割の喪失感...）



老年期うつ（退職や死別などをきっかけに...）

以下の表は、主にうつ病の初期症状を示す簡易チェックリストです、あなたの今の心理状態をチェックしてみませんか？

- ☐ 毎日の生活に充実感が無い。
- ☐ これまで楽しめた事が楽しめなくなった。
- ☐ 以前は楽にできていた事が今ではおっくうに感じられる。
- ☐ 自分が役に立つ人間だと思えない。
- ☐ わけもなく疲れたように感じる。

厚生労働省「うつ対策推進方策マニュアル」より

これらのうち2つ以上当てはまり、その状態が2週間以上、ほとんど毎日続いていて、生活に支障が出ている場合うつ病の可能性を考えてみてください。

多少のイライラやストレスは、睡眠や休養、趣味や娯楽・スポーツ等で解消できますが、これらの症状が続く場合は、かかりつけ医や専門医療機関に早めにご相談ください。

お問い合わせ先 健康福祉課 22-3115